2026年11月13日

各　位

会　社　名　株　式　会　社　ビ　ジ　ョ　ン
代 表 者 名　代表取締役会長CEO　　佐野　健一
（コード番号：9416　東証プライム）
問 合 せ 先　取締役CFO　　中本　新一
(TEL.03-5287-3110)

2026年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2026年12月期（2026 年１月１日～2026 年12月31日）の通期連結業績予想（2026年２月13日付公表）を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．2026 年12月期通期連結業績予想数値の修正（2026 年１月１日～2026 年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	42,000	7,500	7,497	5,100	103.64
今回修正予想（B）	40,200	6,800	6,763	4,510	94.31
増　減　額（B－A）	△1,800	△700	△734	△590	
増　減　率（%）	△4.3	△9.3	△9.8	△11.6	
（ご参考）前期実績（2025年12月期）	39,012	6,465	6,466	4,522	92.12

２．修正の理由

当社グループの主力のグローバルWiFi事業におきましては、中東情勢の緊迫化や近隣諸国の情勢不安に加え、燃油サーチャージの高騰や歴史的な円安水準の長期化等の影響を受け、個人旅行（アウトバウンド）において近距離・短期日程や割安感を重視する傾向が強まったこと等から、需要全体の回復ペースが当初想定を下回って推移いたしました。また、法人顧客の獲得数自体は順調に拡大したものの、こうした外部環境の不透明感を背景とした企業の渡航控えや出張規模の縮小が生じたことで、法人向け売上高が当初想定に届かない状況となりました。現時点におきましても、これらのマクロ環境及び渡航需要の回復時期が見通せない状況が続いております。

情報通信サービス事業におきましては、OA機器等の販売及び月額自社ストックの積み上げが業績を下支えしたものの、通信・インフラ等の取次サービスにおける取引条件の改定や一部商材におけるフローからストックへの比率引き上げに伴い、売上高および利益率に影響が生じました。

これに加え、スペースマネジメント事業における新規大型拠点の開設遅延に伴う先行費用の発生や売上計上時期の後ろ倒し等が生じたことから、売上高が当初想定に届かず、セグメント利益につきましても計画を下回る進捗となりました。

これに対し、グランピング・ツーリズム事業におきましては、グランピング事業における既存施設の安定稼働に加え、ツーリズム事業における株式会社フリープラスの事業承継効果等により、売上高は期初計画を上回るペースで好調に推移いたしました。利益面におきましては、セブ拠点の立ち上げ等に伴う先行投資費用が発生したことで、第３四半期時点の進捗が一時的に下振れております。

しかしながら、全社売上高は前年同期比で増収となり、各事業もいずれも前年同期比で増益を確保しているものの、主力事業であるグローバルWiFi事業及び情報通信サービス事業においては、

期初計画に対する進捗に遅れが生じております。グランピング・ツーリズム事業の売上拡大に加え、全社的なコスト適正化・拠点運営の効率化や運営体制の見直しに取り組んでまいりましたが、これらをもってしても当該遅れを補うには至らない状況となっております。

つきましては、足元の事業環境及び各セグメントの業績進捗を精査いたしました結果、通期連結業績予想について、売上高及び各段階利益ともに前回発表予想を下回る見通しとなりましたため、上記の通り修正いたします。

なお、2026年２月13日に公表いたしました配当予想（年間配当：１株当たり51円）に変更はございません。

また、当期の配当予想の背景ならびに今後の株主還元方針（累進配当の導入等）の詳細につきましては、本日別途公表いたしました『中期経営計画の取り下げ及び配当方針の変更（累進配当の導入）に関するお知らせ』をご参照ください。

（注）上記の業績予想は、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以上